

# シアトルだより- January 2017 Vol.10



あけましておめでとうございます。シアトルの中心にスペースニードルというタワーがあり、大みそかにはなんとそのタワーから花火が上がり、たくさんの方でカウントダウンをして派手に年が明けました。ワシントン州の北の端に神社があり、初もうでをしました。日本そのものという雰囲気、多くの方が過ごしてこられた歴史を感じます。お正月を三が日といいますが、こちらで



は新年は元日のみという感じで、授業も1月3日からです。少し前までのクリスマスの雰囲気からあつという間に日常が始まります。1月の最初の週末に、家々に飾っていた生木のクリスマスツリーが回収されていました。

シアトルと神戸は姉妹都市を結んで今年で60年になります。去年は神戸まつりにシアトル市長も参加し、今年はこちらのパレードに神戸市長が参加するそうです。シアトルセンターという市の中心には神戸から送られた鐘があり、神戸ベルと呼ばれています。そこで日本国総領事以下関係者による震災の追悼



式がありました。発生時刻に合わせて、シアトル時間の1月16日お昼12時46分に黙とうをしました。授業でも震災について伝えました。

その日は、公民権運動指導者マーチンルーサーキングJr 記念日で、権利や平等を訴える集会や行進が行われました。またその後も、政治状況を不安に思う人々により大規模な抗議デモが行われています。大統領令に対して、ここワシントン州の司法長官が差止命令をしたことは日本でもニュースになっていると思います。

さて学校では、時間を見つけて他教科の授業の見学にしています。英語(国語)や社会を見ることが多いですが、日本とは授業のスタイルや生徒の様子が違います。じっとしては評価されないのが、意見はどんどん発表しています。黒板をノートに写すというよりも、話し合ったり調べたり、何かを作ったり発表したりと、能動的に学習している印象を受けます。



そのように授業や部活動などでリーダーシップを発揮して頑張っている生



徒を月に1回学年男女1名ずつ、月間優秀生徒として表彰します。校内掲示され、公共施設やスーパーなどに置かれている地域新聞にも載ります。学区内に高校は2つだけなので、生徒の活動の様子がたくさん掲載されています。

もう一つのマリナー高校にも、月2回程度お手伝いに行かせてもらっています。地域の行事に出かけたときに、「マサ先生」と声をかけられることも増えました。



こちらでは小学校から高校まで、毎日米国の星条旗に向かって忠誠の誓いという決まった言葉を唱えます。移民が多い国の成り立ちに関係がありそう



です。旗といえば、スポーツや行事の前に国旗や国歌が頻りに登場します。国民の多くが自分たちの旗や歌を誇りに思っていることが感じられ、当たり前だけど素晴らしいと感じました。授業で日本の国歌を教え、そのことを生徒に伝えました。あと2か月、それぞれの良さにたくさん気づければと思っています。